

F★★★★

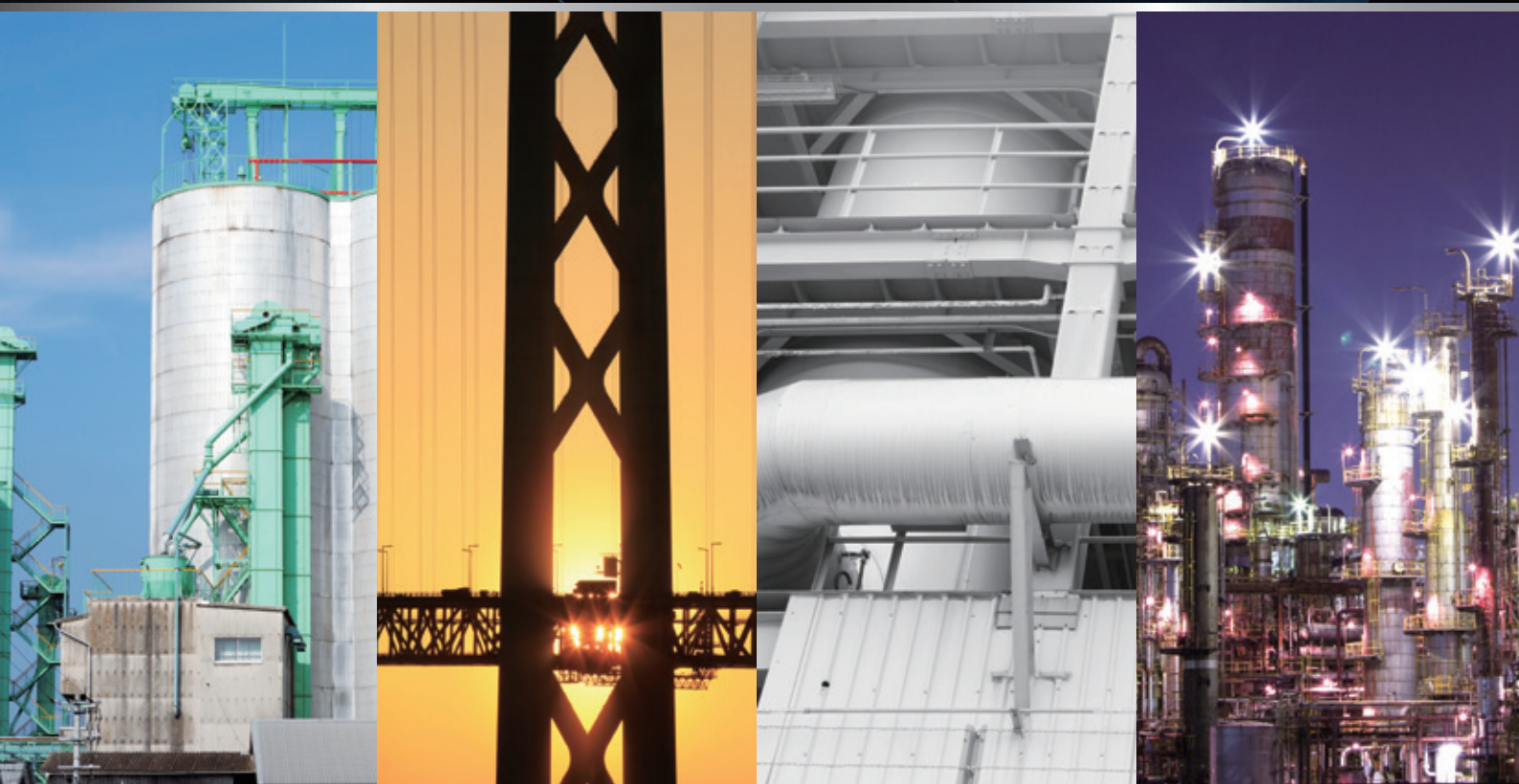
ホルムアルデヒド放散等級

JIS K 5551:2018
構造物用さび止めペイントC種1号

JPMS-28
一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント

一液反応硬化形エポキシ樹脂塗料

アルテクトNB



進化を続ける変性エポキシ樹脂塗料

アルテクトNB

変性エポキシ樹脂塗料は、エポキシ樹脂の他に機械強度、耐薬品性、水や酸素などの透過を抑制する優れた変性樹脂を併用した塗料です。

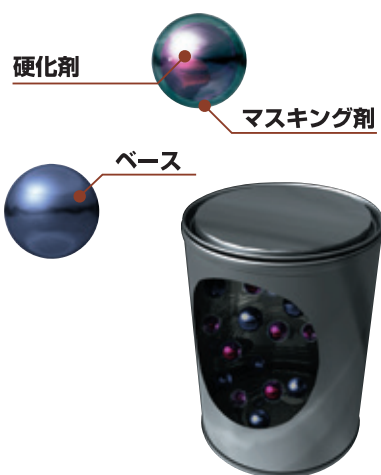
アルテクトNBは、変性エポキシ樹脂とカプセル化された硬化剤から構成された一液反応硬化形の変性エポキシ樹脂塗料です。

硬化剤のケチミンによる錆面への浸透効果と変性樹脂による補強効果によって、3種ケレン面での付着性、防食性に優れています。また、変性樹脂による塗膜の応力緩和作用による、旧塗膜への塗り重ね適性にも優れており、塗り替え塗装に最適な塗料です。



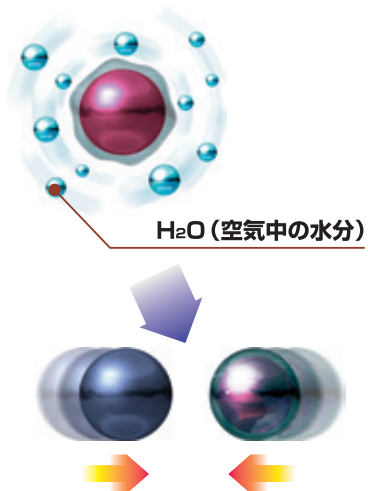
Mechanism

Step 1



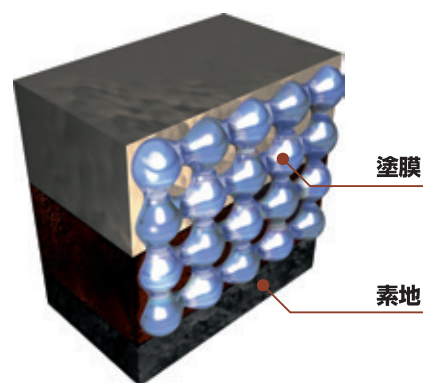
塗料容器内では、硬化剤をマスキングされた状態にすることで一液化されています。

Step 2



マスキング剤は塗装することで、空気中の水分と反応し破壊され、ベースと硬化剤は急速に反応硬化します。

Step 3



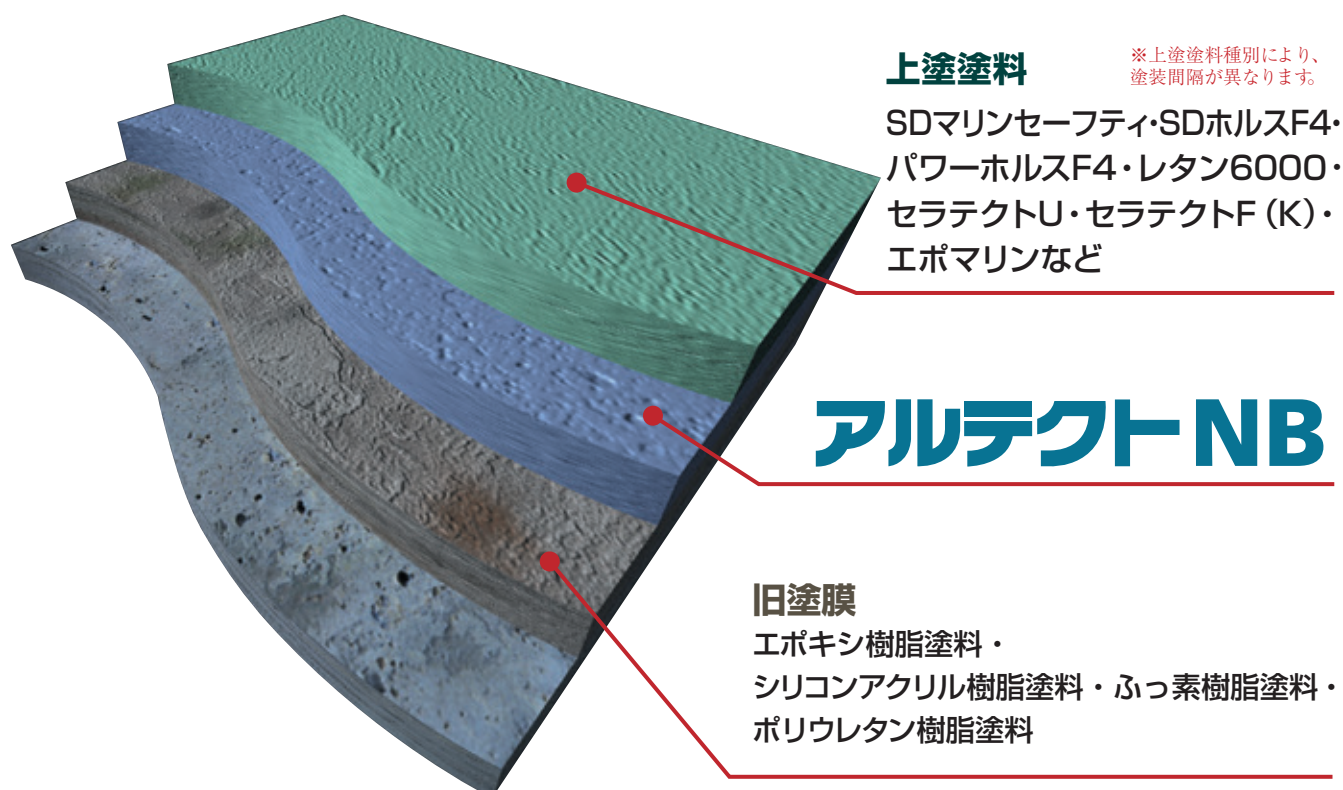
強靱な架橋網目の塗膜を形成し、素地面に深く浸透します。

アルテクトNBの特長

- 1 変性樹脂を併用することによりケチミン反応硬化エポキシ樹脂塗料の特長である素地面への浸透力が、さらに強化されました。
- 2 重金属を含まない「環境にやさしい」新しいさび止塗料です。
- 3 旧塗膜・上塗塗料を選ばない万能形プライマーです。
又、亜鉛めっき、アルミニウム面など各種素材との付着性が良好です。
- 4 乾燥性が優れており、工期短縮ができます。
- 5 一液形で作業性にすぐれています。
- 6 JPMS-28 一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント適合品です。
- 7 ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆ (放散量0.12mg/L以下)です。

■ 推奨用途

さび止め塗料及び塗り替え用万能形プライマーとしてご使用ください。



ALTE

性能比較表

項 目		アルテクトNB	二液形変性エポキシ (市販品)	試 験 方 法
乾 燥 性 (23℃)	指 触	30分	1時間	JIS法 (40~50 μ m)
	半 硬 化	2時間	4時間	
促進防食試験	耐塩水噴霧性	異常なし	異常なし	JIS K 5600 塩水噴霧試験720時間
	塩水浸漬性	異常なし	異常なし	JIS K 5600 塩水浸漬試験
海浜曝露防食性		異常なし	異常なし	当社千倉試験場にて12ヶ月暴露
上 塗 適 合 性	フタル酸系	○	△	—
	塩化ゴム系	○	○	
	エポキシ系	○	○	
	ポリウレタン系	○	○	
	ふっ素系	○	○	

※評価基準（相対評価）劣←×△△○→優

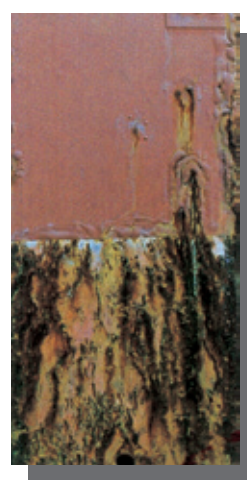
促進防食比較試験



アルテクトNB



二液形変性エポキシ
(市販品)



JIS K 5674
鉛・クロムフリーさび止めペイント1種
(市販品)

※試験方法
JIS K 5600
塩水噴霧試験720時間

※試験片作成条件
素 材：300×90×3.2mm、さび鋼板
膜 厚：40 μ m×2
塗装方法：ハケ塗り

■ 塗り替え標準仕様

【低汚染形ふっ素仕様】

工 程	塗料名	塗り回数	塗装方法	所要量 (kg/m ² 回)	塗装間隔(20℃)		標準膜厚 (μm/回)	シンナー希釈率 (重量比)
					Min.	Max.		
素地調整	電動工具、手工具を併用し、発錆部はISO St-2まで除錆する。							
補修塗り	アルテクトNB	(1)	ハケ	(0.24)	4H	3M	(60)	0～10
下塗1	アルテクトNB	1	ハケ	0.24	4H	3M	60	0～10
中 塗	セラテクトF中塗	1	ハケ	0.14	16H	10D	30	0～10
上 塗	セラテクトF(K)上塗	1	ハケ	0.12	24H	—	25	0～10

【低汚染形ポリウレタン仕様】

工 程	塗料名	塗り回数	塗装方法	所要量 (kg/m ² 回)	塗装間隔(20℃)		標準膜厚 (μm/回)	シンナー希釈率 (重量比)
					Min.	Max.		
素地調整	電動工具、手工具を併用し、発錆部はISO St-2まで除錆する。							
補修塗り	アルテクトNB	(1)	ハケ	(0.24)	4H	3M	(60)	0～10
下塗1	アルテクトNB	1	ハケ	0.24	4H	3M	60	0～10
中 塗	セラテクトU中塗	1	ハケ	0.14	16H	10D	30	0～10
上 塗	セラテクトU上塗	1	ハケ	0.12	16H	—	25	0～5

〈使用上の注意事項〉

- 1) 被塗面の異物（建削剤、ダスト、油脂汚れ、水分）や粉化物などは塗装前に除去してください。
- 2) 浮きさびやルーズな黒皮、旧塗膜面の発錆や塗膜の浮きなどは十分に除去してください。
- 3) 気温5℃以下、高湿時の塗装は避けてください。
- 4) 塗膜が乾燥過程で水（降雨など）の作用を受けると白化することがあります。
この場合は軽くサンドペーパーで表面を研磨するなどの処理を行ってください。
- 5) 常時没水される場合は使用できません。
- 6) 高温（40℃以上）で貯蔵や保管されると塗料が増粘します。
使い残した塗料は密閉した容器に入れ暗冷所で保管ください。
- 7) 塗料が皮膚につくと、人によってはカブレを起こすことがありますので注意してください。
- 8) 塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS（安全データシート）を参照ください。
- 9) 換気の良い場所で取り扱い、容器はその都度密栓してください。
- 10) 国交省公共工事標準仕様において、JPMS-28は「塗付け量（ロス無し塗着質量）」として0.10kg/m²と記載されています。かたや、本紙での所要量欄は塗料ロスを含んでいますので、お間違いなき様、ご注意ください。

危険物表示

製品名	危険物	使用有機溶剤
アルテクト NB	第1石油類	第2種

製品取扱上の注意事項（安全衛生他）

下記の注意事項を守ってください。
詳細な内容については安全データシート（SDS）をご参照ください。

■ 予 防 策

取り扱い作業中・乾燥中とともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護メガネ・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
本来の目的以外に使用しないこと。
指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■ 対 応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

■ 施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。



関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757
東北 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073
北関東信越 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223

東京 TEL (03) 5711-8902 FAX (03) 5711-8932
中部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981
大阪 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603

中国 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
四国 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950
九州 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

(22年11月20日PKO)カタログNo.638

